

項 目 名	Y字型ベルト、改良着
表 題	不潔行為、車椅子より転倒の可能性のある方のケースの関り
施 設 名	きぼうの苑（介護老人福祉施設）

### 1 利用者の状況

年齢 93 歳 性別 女性 要介護度 4 痴呆性老人の日常生活自立度

#### 【病名（既往症）及び病状】

脳血管性痴呆・高血圧症・左右大腿骨頸部骨折

### 2 施設内の生活における現状や課題

#### 【身体的な状況】

●食事摂取自立 他の ADL 全介助 視力、聴力普通両下肢（膝関節）軽度の拘縮 車椅子自力駆動可

#### 【痴呆の状況】

●重度の痴呆（長谷川式スケール 1/30 点） 収集癖 脱衣 不潔行為 徘徊 異食行為 危険度の認識無し

### 3 拘束に至った経過や原因と考えられるもの

#### ●Y字型ベルト

両下肢の骨折、加齢による筋力の低下により車椅子使用となる。日中車椅子離床で過ごしている。立位保持できないとの認識なく収集、異食行為のため車椅子より立ち上がる。転落、転倒の恐れが十分考えられた。

#### ●改良着

尿意、便意なく尿量が多い、それに伴って痒みがある。上肢に麻痺は無く脱衣、不潔行為頻繁に見られ、かき傷作らないためと、風邪予防などを考え着用

### 4 ケアカンファレンスでの意見や協議内容

●拘束はしないという方向で、問題点・原因を究明し一つ一つ改善する。

#### ●Y字型ベルト

装着時間の短縮・職員の声掛け、見守りの強化

#### ●改良着

着用している時間帯の短縮・NSとの連携による痒みの軽減・尿量に着目しオムツ交換の回数を増やす・離床時間を増やし日中の行事、クラブ参加・音楽、散歩、ゲームを楽しむ夜間の眠りを誘う。

### 5 拘束廃止に取り組んだ過程や取り組み状況

#### ●Y字型ベルト

装着時間の短縮とし、外す時間帯を考える。職員の見守りが出来る時間帯（食事の時間帯に外して様子観察）また、クラブ・行事と外す時間を増やし、廃止とする。廃止後も数々の問題行動（脱衣、収集、異食行為）があるか、見守りを強化し対応している。

#### ●改良着

着用時間の短縮 19:00~6:00 までの使用を 19:00~23:00 までとし熟睡する時間は見守りのみとする。離床時間を増やし日中はクラブ・行事に積極的に参加し、散歩・ゲーム音楽を聴くなどし、夜間眠るための工夫をする。改良着を中止し様子観察するが拘束感が取れ、開放感からか夜間よく眠られる。時に脱衣行為見られるが、脱いだら着てもらう介護を心掛け気長に対応する。

### 6 改善の成果

脱衣行為・不潔行為も軽減され夜間よく眠られる日が多くなった。Y字型ベルトを外し

た事でのずり落ちや転落事故も無く、開放感からか精神的にも落ち着かれ笑顔が多く見られるようになったと思う。

#### 7 担当職員の感想、意見

拘束をしていないと絶対に危険、廃止するのは無理だと思いつつも拘束はしないという方向で取り組む。拘束者一人一人の現状報告を廃止に向けての意見交換、実施状況を話し合うなかで、安易に拘束を行っていた事を反省でき、人間としての尊厳を守るため拘束をなくすという職員全員の意識改革ができ、どのような介護が拘束なく安全に過ごしているのかを常に考えて行動するようになった。